

保有する病棟と機能区分の選択状況(2016(平成28)年7月1日時点の機能)

病床の機能区分	病棟名					
高度急性期						
急性期						
回復期						
慢性期	1病棟	2病棟	3病棟	5病棟	6病棟	7病棟
休様中、休様後の再開の予定なし、休様・廃止予定、無回答等						

保有する病棟と機能区分の選択状況(6年が経過した日における病床の機能の予定)

病床の機能区分	病棟名					
高度急性期						
急性期						
回復期						
慢性期	1病棟	2病棟	3病棟	5病棟	6病棟	7病棟
休様中、休様後の再開の予定なし、休様・廃止予定、無回答等						

(留意事項)

○公表している項目の中には、診療報酬制度上で定められた診療行為の定義に従って集計した項目が多くありますが、その項目の解説については、医療関係者以外の方にも分かりやすい表現とする趣旨で記載しているため、診療報酬制度上の定義を詳細には記載していない場合があります。

○また、公表している項目の中には、個人情報保護の観点から、1以上10未満の値を「*」で隠匿している項目があります。

○「未確認」とされている情報は、未報告や報告内容の不整合があったことから確認が必要な情報になります。

○施設全体の欄では、内容に「*」「未確認」とされている情報が含まれている場合に「未」を記載しています。

○「-」とされている情報は、任意の報告項目や報告が不要となる場合、留意すべき報告対象期間について特段の情報がない場合に記載されています。

基本情報(職員配置、届出の状況など)

患者の入退院等の状況

医療内容に関する情報(手術、リハビリテーションの実施状況など)

・病床の状況
・診療科
・入院基本料・特定入院料及び届出病床数
・直すぐん入院料本用・特定入院料別の状況
・DPC医療機関固形の種類
・救命告示看板、二次救命医療指針、三次救命医療指針の表示・認定の有無
・診療報酬の届出の有無
・診療報酬の届出部門の割当状況
・医療機関の会員登録状況
・医療機関の会員登録の会員登録状況
・過去1年間の間に新規の会員登録・登録しがあった場合

・入院患者の状況(年齢)
・入院患者の状況／日間／入院前の場所：退院生の場所の状況
・退院後に在宅医療を必要とする患者の状況
・重複申込を行った患者数
・手術の状況
・がん：既往中、心疾様変、分娩、精神疾患への対応状況
・重症患者への対応状況
・救急医療の実施状況
・急性対応の実施状況
・全般管理の状況
・リハビリテーションの実施状況
・長期滞在患者の輸入状況
・重度の障害児等の輸入状況
・医療機関の会員登録状況

・手術の状況
・がん：既往中、心疾様変、分娩、精神疾患への対応状況
・重症患者への対応状況
・救急医療の実施状況
・全般管理の状況
・リハビリテーションの実施状況
・長期滞在患者の輸入状況
・重度の障害児等の輸入状況
・医療機関の会員登録状況

◆基本情報（職員配置、届出の状況など）

病床の状況

		(項目の解説)	施設全体	1病棟 慢性期	2病棟 慢性期	3病棟 慢性期	5病棟 慢性期	6病棟 慢性期	7病棟 慢性期
一般病床	許可病床	医療機関の病床(ベッド)は、法律(医療法)の許可を得た上で運営することとされており、許可を受けた病床のうち、過去に認定を受けた患者を受け入れた病院の病床を稼働病床数として示しています。	60床	60床 0床	0床 0床	0床 0床	0床 0床	0床 0床	0床 0床
	上記のうち医療法上の経過措置に該当する病床数	60床 0床	60床 0床	0床 0床	0床 0床	0床 0床	0床 0床	0床 0床	0床 0床
療養病床	稼働病床	なお、病室の広さは患者一人あたり6、4平方メートル以上と定められていますが、平成13年3月1日以前に許可を受けた病院の場合は、この規定を適用せずに運営されています。	60床	60床 0床	0床 0床	0床 0床	0床 0床	0床 0床	0床 0床
	うち医療療養病床	また医療法では、病床のうち、主として長期にわたり介護を必要とする患者が入院するための病床を療養病床と呼んでいます。療養病床の中には、医療保険を適用した医療サービスを提供するのではなく、介護保険を適用した介護サービスを提供する病床もあります。前者は医療療養病床、後者は介護療養病床と呼んでいます。	232床	0床 60床	60床 60床	60床 60床	60床 60床	60床 60床	53床 53床
療養病床	うち介護療養病床	また医療法では、病床のうち、主として長期にわたり介護を必要とする患者が入院するための病床を療養病床と呼んでいます。療養病床の中には、医療保険を適用した医療サービスを提供するのではなく、介護保険を適用した介護サービスを提供する病床もあります。前者は医療療養病床、後者は介護療養病床と呼んでいます。	240床	0床 60床	60床 60床	60床 60床	60床 60床	60床 60床	0床 0床
	稼働病床	60床 0床	0床 0床	0床 0床	0床 0床	0床 0床	0床 0床	0床 0床	53床 53床
療養病床	うち医療療養病床	60床 0床	0床 0床	0床 0床	0床 0床	0床 0床	0床 0床	0床 0床	0床 0床
	うち介護療養病床	60床 0床	0床 0床	0床 0床	0床 0床	0床 0床	0床 0床	0床 0床	53床 53床

診療科

		(項目の解説)	施設全体	1病棟 慢性期	2病棟 慢性期	3病棟 慢性期	5病棟 慢性期	6病棟 慢性期	7病棟 慢性期
主とする診療科	複数ある場合、上位3つ	主とする診療科は、どのより患者を診療している診療科を意味します。5割を超える診療科がない場合は、上位3つの診療科を示しています。		内科	内科	内科	内科	内科	内科
				-	-	-	-	-	-
				-	-	-	-	-	-
				-	-	-	-	-	-

算定する入院基本料・特定入院料等の状況

DPC医療機関群の種類

	(項目の解説)	施設全体	1病棟 慢性期	2病棟 慢性期	3病棟 慢性期	5病棟 慢性期	6病棟 慢性期	7病棟 慢性期
DPC医療機関群の種類	DPC制度とは、急性期の人院医療を担う医療機関において、患者に対する入院日数に応じて1日あたり一定額の医療費を算定する制度です。この制度は、各病院の特徴や医療費等の特性を示すもので、特性や医療費等に応じて日本の医療費の設定が異なります。I群が大学病院本院、II群が大学病院本院に準じる病院、III群がそれ以外の病院であることをDPCではない							

救急告示病院、二次救急医療施設、三次救急医療施設の告示・認定の有無

	(項目の解説)	施設全体	1病棟 慢性期	2病棟 慢性期	3病棟 慢性期	5病棟 慢性期	6病棟 慢性期	7病棟 慢性期
救急告示病院の告示の有無	救急告示病院とは、車椅子や高齢者による救急患者を救急搬送に適応する医療機関として、都道府県知事が認めた病院です。また、救急患者のうち、入院医療が必要な重症な救急患者を休日や夜間に受け入れる医療機関を二次救急医療施設といいます。さらに、二次救急では対応できない重症な救急患者を受け入れる医療機関を三次救急医療施設と呼びます。	無						
二次救急医療施設の認定の有無		無						
三次救急医療施設の認定の有無		無						

診療報酬の届出の有無

	(項目の解説)	施設全体	1病棟 慢性期	2病棟 慢性期	3病棟 慢性期	5病棟 慢性期	6病棟 慢性期	7病棟 慢性期
総合入院体制加算の届出の有無	総合入院体制加算とは、十分な人員配置および設備等を備え総合的かつ専門的な急性期医療を24時間提供できる体制を確保している病院のことです。	届出なし						
在宅療養支援病院の届出の有無	在宅療養支援病院とは、24時間住診が可能な体制を確保している病院のことです。また、在宅療養支援病院の場合は、在宅療養が可能な体制を確保している病院のことです。	無						
在宅療養後方支援病院の届出の有無	在宅療養後方支援病院とは、在宅医療を受けている患者の急変時に備え、緊急入院を受け入れるための病床を確保している病院です。	無						

			(項目の解説)						
			施設全体	1病棟 慢性期	2病棟 慢性期	3病棟 慢性期	5病棟 慢性期	6病棟 慢性期	7病棟 慢性期
看護師	常勤	職員数は、医療機関内の各部門に配置されている職員数です。	78人	16人	15人	12人	13人	9人	7人
	非常勤		14.7人	4.9人	6.3人	0.4人	1.8人	0.0人	0.4人
准看護師	常勤	(参考)理学療法士	30人	3人	4人	6人	5人	7人	5人
	非常勤	座る、立つ、歩くなどの基本動作ができるよう、身体の基本的機能の回復をサポートするリハビリテーションの専門職です。理学療法士は、運動機能を中心に身体機能を評価して、運動機能を改善するための訓練などを用いて、ストレッチや筋肉の改善を行ったり、温熱、光線、電気などを用いて、痛みや拘離の改善を図る物理療法治を行っています。	4.4人	2.8人	1.6人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人
看護補助者	常勤		100人	14人	15人	16人	18人	15人	19人
	非常勤		2.1人	0.0人	0.3人	0.6人	0.5人	0.7人	0.0人
助産師	常勤		0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	非常勤		0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人
理学療法士	常勤		10人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	非常勤		0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人
作業療法士	常勤		4人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	非常勤		0.6人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人
	常勤		3人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	非常勤		0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人
言語聴覚士	常勤	(参考)言語聴覚士	6人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	非常勤	言語聴覚士が出ていくなどのコミュニケーションや、食べ物を飲み込むなどの能力に問題が生じている場合に、その回復をサポートするリハビリテーションの専門職です。障害が起こっているメカニズムを明らかにし、対処法を探るために検査、評価し、必要な応じて訓練やアドバイスを行います。	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人
薬剤師	常勤		0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	非常勤		0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人
臨床工学技士	常勤		0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	非常勤		0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人

			(項目の解説)		
			施設全体	病棟以外の部門	
			手術室	外来部門	その他
看護師	常勤	職員数は、医療機関内の各部門に配置されている職員数です。	0人	1人	5人
	非常勤		0.0人	0.0人	0.0人
准看護師	常勤	(参考)理学療法士	0人	0人	0人
	非常勤	座る、立つ、歩くなどの基本動作ができるように、身体の基本的機能の回復をサポートするリハビリテーションの専門職です。筋力・筋膜・筋肉の機能を改善する運動療法を行ったり、温熱・光線・電気などを用いて、痛みや炎症の改善を図る物理療法を行ったりします。	0.0人	0.0人	0.0人
看護補助者	常勤		0人	0人	3人
	非常勤		0.0人	0.0人	0.0人
助産師	常勤		0人	0人	0人
	非常勤		0.0人	0.0人	0.0人
理学療法士	常勤	(参考)作業療法士	0人	10人	0人
	非常勤	持を持つかず、食事をするなど日常生活を送る上で必要な機能の回復・補助をサポートするリハビリテーションの専門職です。作業療法の手段には、土木・陶芸・園芸・織物・料理・手芸・絵画・音楽などがあり、個人あるいは集団で行います。	0.0人	0.0人	0.0人
作業療法士	常勤		0人	4人	0人
	非常勤		0.0人	0.0人	0.0人
言語聴覚士	常勤		0人	3人	0人
	非常勤	(参考)看護師	0.0人	0.0人	0.0人
薬剤師	常勤	人手が足りない、薬が出にくいなどのコミュニケーションや、薬の効果を最大化するための能力に問題が生じている場合に、その回復をサポートするリハビリテーションの専門職です。障害が起こっているメカニズムを明らかにして、対処法を探るために検査、評価し、必要に応じて訓練やアドバイスを行っています。	0人	6人	0人
	非常勤		0.0人	0.0人	0.0人
臨床工学科技士	常勤		0人	0人	0人
	非常勤		0.0人	0.0人	0.0人

退院調整部門の設置状況

		(項目の解説)	施設全体	1病棟 慢性期	2病棟 慢性期	3病棟 慢性期	5病棟 慢性期	6病棟 慢性期	7病棟 慢性期
退院調整部門の有無	医師	専従	有						
	医師	兼任	0人						
	看護職員	専従	0.2人						
	看護職員	兼任	1人						
	MSW	専従	0.0人						
	MSW	兼任	6人						
	MSWのうち社会福祉士	専従	0.0人						
	MSWのうち社会福祉士	兼任	5人						
	事務員	専従	0人						
	事務員	兼任	0.0人						
退院調整部門に勤務する人数	その他	専従	0人						
	その他	兼任	0.0人						

医療機器の台数

		(項目の解説)	施設全体	1病棟 慢性期	2病棟 慢性期	3病棟 慢性期	5病棟 慢性期	6病棟 慢性期	7病棟 慢性期
CT	スマ	64列以上	CTは、X線(放射線)を用いて、身体の断面を撮影する装置です。列の数が多いほど、同じ範囲をより短時間、より細かく撮影することができます。確は医療機器が保有する台数です。	0台					
	スラル	16列以上64列未満		0台					
	イデ	16列未満		0台					
MRI	その他			1台					
	3T以上	MRIは、主に磁気を利用して、身体の断面を撮影する装置です。T(テスラ)は、磁気の強さを表す単位で、値が大きいほど高品質の画像が得られます。確は医療機器が保有する台数です。		0台					
	1.5T以上3T未満			0台					
	1.5T未満			0台					

その他	血管連続撮影装置	血管連続撮影装置は、X線では映らない、血管の状態を撮影するための装置です。当社は医療機器が保有する台数です。	0台
	SPECT	SPECTは、特殊な薬剤を注射したあとに撮影すること、体内の薬剤の分布を調べる装置で、どこに、脳出血や腫瘍や心筋梗塞の部位に用いられます。当社は医療機器が保有する台数です。	0台
	PET	PETCTは、診断の精度を向上させるためにPETとCTを組み合った装置です。当社は医療機器が保有する台数です。	0台
	PETCT	PETCTは、診断の精度を向上させるためにPETとCTを組み合った装置です。当社は医療機器が保有する台数です。	0台
	PETMRI	PETMRIは、PETとMRIを組み合わせた装置で、どちらかとも言えず、当社は医療機器が保有する台数です。	0台
	ガンマナイフ	ガンマナイフは、脳に精密に放射線を集中照射する装置です。当社は医療機器が保有する台数です。	0台
	サイバーナイフ	サイバーナイフは、脳に精密に放射線を集中照射する装置で集中的に治療時間は数分程度で集中的に治療時間は数分程度です。当社は医療機器が保有する台数です。	0台
	強度変調放射線治療器	強度変調放射線治療器は、腫瘍に精確に放射線を照射する装置です。当社は医療機器が保有する台数です。	0台
	遠隔操作式密閉小線源治療装置	遠隔操作式密閉小線源治療装置は、体の内側から放射線を照射する装置を持つ装置です。当社は医療機器が保有する台数です。	0台
	内視鏡手術用支援機器(ダヴィンチ)	内視鏡手術用支援機器(ダヴィンチ)は、内視鏡カメラとドロップアームを操作して手術を行つ手術支援ロボットです。当社は医療機器が保有する台数です。	0台

[TOPへ戻る](#)

過去1年間に病様の再編・見直しがあった場合の報告対象期間

		(項目の解説)	施設全体	1病棟 慢性期	2病棟 慢性期	3病棟 慢性期	5病棟 慢性期	6病棟 慢性期	7病棟 慢性期
過去1年間に病様の再編・見直しがあった場合の報告対象期間		病様の再編・見直しがあった場合の報告対象期間は、平成27年7月1日～平成28年6月30日の期間内に病様の再編・見直しが行われた場合、過去1年間分の状況を報告することが困難な場合、平成28年7月1日時点の病様単位で報告が可能な過去の期間です。		-	-	-	-	-	-

[TOPへ戻る](#)

◆患者の入退院等の状況

入院患者の状況(年間)

年間	新規入院患者数(年間)	(項目の解説)						
		1年間の入院患者の状況は、平成27年7月から平成28年6月までに入院・退院した患者数を示す項目です。	施設全体	1病棟 慢性期	2病棟 慢性期	3病棟 慢性期	5病棟 慢性期	6病棟 慢性期
	うち予定入院の患者・院内の他病棟からの転換患者	535人	38人	130人	77人	91人	100人	101人
	うち救急医療入院の予定外入院の患者	535人	38人	130人	77人	91人	100人	101人
	うち救急医療入院以外の予定外入院の患者	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	在籍患者延べ数(年間)	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	退院患者数(年間)	542人	41人	129人	77人	93人	100人	102人

入院患者の状況(月間／入院前の場所・退院先の場所の状況)

1ヶ月間	新規入院患者数(1ヶ月間)	(項目の解説)						
		1ヶ月間の入院患者の状況は、平成28年6月に入院を受け入れた患者の入院前の場所、退院した患者の退院先の場所を示す項目です。	施設全体	1病棟 慢性期	2病棟 慢性期	3病棟 慢性期	5病棟 慢性期	6病棟 慢性期
	うち院内の他病棟からの転換	49人	1人	9人	0人	0人	0人	0人
	うち家庭からの入院	3人	0人	1人	0人	2人	1人	1人
	うち他の施設・診療所からの転院	6人	2人	4人	0人	0人	0人	0人
	うち介護施設・福祉施設からの入院	37人	2人	4人	7人	7人	8人	8人
	うち院内の出生	1人	0人	0人	1人	0人	0人	0人
	その他	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	退院患者数(1ヶ月間)	42人	3人	8人	8人	11人	6人	6人
	うち院内の他病棟へ転換	5人	1人	3人	0人	0人	1人	0人
	うち家庭への退院	4人	2人	1人	0人	1人	0人	0人
	うち他の施設・診療所へ転院	9人	4人	2人	4人	1人	3人	1人
	うち介護老人保健施設に入所	1人	0人	0人	0人	1人	0人	0人
	うち介護老人福祉施設に入所	2人	0人	0人	0人	1人	1人	0人
	うち社会福祉施設・有料老人ホーム等に入所	2人	0人	0人	0人	2人	0人	0人
	うち終了(死亡・退院等)	19人	0人	2人	6人	5人	1人	5人
	その他	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人

退院後に在宅医療を必要とする患者の状況

1ヶ月間	退院患者数(1ヶ月間)	(項目の解説)						
		退院後に在宅医療を必要とする患者の状況は、平成28年6月の1か月間に退院した患者に対する、在宅医療の提供の必要性に関する項目です。	施設全体	1病棟 慢性期	2病棟 慢性期	3病棟 慢性期	5病棟 慢性期	6病棟 慢性期
	うち院内での自院が在宅医療を提供する予定の患者数	37人	2人	5人	8人	11人	5人	6人
	うち1か月以内に他施設が在宅医療を提供する予定の患者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち1か月以内に在宅医療を必要としない患者(死亡・退院等)	8人	2人	1人	0人	5人	1人	0人
	退院後1か月以内に在宅医療の実施予定が不明の患者	19人	0人	2人	8人	5人	1人	5人
	退院後1か月以内に在宅医療の実施予定が不明の患者	9人	0人	2人	2人	1人	3人	1人

看取りを行った患者数

※在宅養護支援病院の届出を行っている病院のみが報告する事項です。

		(項目の解説)						
		施設全 体	1病棟 慢性期	2病棟 慢性期	3病棟 慢性期	5病棟 慢性期	6病棟 慢性期	7病棟 慢性期
直近1年間で在宅療養を担当した患者のうち、医療機関以外での看取り数(年間)		看取りとは、患者の死期まで見守り臨終に付きそうことといい、また、例えば27ヶ月から18ヶ月までの1年間に在宅療養を担当し、看取りまで支援した患者について、その看取りを行った場所や数を示しています。	-					
うち自宅での看取り数			-					
うち施設での看取り数			-					
直近1年間で在宅療養を担当した患者のうち、医療機関での看取り数(年間)			-					
うち連携医療機関での看取り数			-					
うち連携医療機関以外での看取り数			-					

[TOPへ戻る](#)

◆医療内容に関する情報（手術、リハビリテーションの実施状況など）

手術の状況

手術回数		(項目の解説)						
手術回数		施設全体	1病棟 慢性期	2病棟 慢性期	3病棟 慢性期	5病棟 慢性期	6病棟 慢性期	7病棟 慢性期
臓器別の状況	皮膚・皮下組織	未確認	※	0件	0件	0件	0件	未確認
	筋骨格系・四肢・体幹	未確認	※	0件	0件	0件	0件	未確認
	神経系・頭蓋	未確認	※	0件	0件	0件	0件	未確認
	眼	未確認	※	0件	0件	0件	0件	未確認
	耳鼻咽喉	未確認	※	0件	0件	0件	0件	未確認
	頸椎・口腔・頸部	未確認	※	0件	0件	0件	0件	未確認
	胸部	未確認	※	0件	0件	0件	0件	未確認
	心・血管	未確認	※	0件	0件	0件	0件	未確認
	腹部	未確認	※	0件	0件	0件	0件	未確認
	尿路系・副腎	未確認	※	0件	0件	0件	0件	未確認
	性器	未確認	※	0件	0件	0件	0件	未確認
	歯科	未確認	※	0件	0件	0件	0件	未確認
	全身麻酔の手術件数	未確認	※	0件	0件	0件	0件	未確認
臓器別の状況	皮膚・皮下組織	未確認	※	0件	0件	0件	0件	未確認
	筋骨格系・四肢・体幹	未確認	※	0件	0件	0件	0件	未確認
	神経系・頭蓋	未確認	※	0件	0件	0件	0件	未確認
	眼	未確認	※	0件	0件	0件	0件	未確認
	耳鼻咽喉	未確認	※	0件	0件	0件	0件	未確認
	頸椎・口腔・頸部	未確認	※	0件	0件	0件	0件	未確認
	胸部	未確認	※	0件	0件	0件	0件	未確認
	心・血管	未確認	※	0件	0件	0件	0件	未確認
	腹部	未確認	※	0件	0件	0件	0件	未確認
	尿路系・副腎	未確認	※	0件	0件	0件	0件	未確認
	性器	未確認	※	0件	0件	0件	0件	未確認
	歯科	未確認	※	0件	0件	0件	0件	未確認
	全身麻酔の手術件数	未確認	※	0件	0件	0件	0件	未確認
人工心肺を用いた手術		未確認	※	0件	0件	0件	0件	未確認
胸腔鏡下手術		未確認	※	0件	0件	0件	0件	未確認
腹腔鏡下手術		未確認	※	0件	0件	0件	0件	未確認

がん、脳卒中、心筋梗塞、分娩、精神医療への対応状況

(がん)

(項目別解説)									
	慢性期	慢性和期							
悪性腫瘍手術	悪性腫瘍手術とは、がんを取るためにの手術です。腫は手術を行った部位を指す。	未確認	※	0件	0件	0件	0件	0件	未確認
病理組織標本作製	病理組織とは、患者の腫瘍や病変を用いた細胞や組織を観察するための検査結果を指す言葉で、病理診断の目録充実や治療方針の選択、治療効果の判定に用いられます。	未確認	※	0件	0件	0件	0件	0件	未確認
術中迅速病理組織標本作製	病理組織検査に必要な組織を、術中に採取して即時に検査する方法で、術中迅速病理組織検査と呼んでいます。そのための病理組織標本作製を主に行なう施設です。	未確認	※	0件	0件	0件	0件	0件	未確認
放射線治療	放射線治療とは、がんに直接射線を当てる(照射)ことで、がん細胞を殺すことを目的とした治療法です。病理診断を行なった後で用いられます。	未確認	※	0件	0件	0件	0件	0件	未確認
化学療法	化学療法は、抗がん剤によりがんを殺したり、小さくしたりする治療法です。がん細胞を殺すために用いられる薬のことを指す言葉で、例として紀伊国屋薬品工業が日本国内で販売しているのが「アシタブリム」などがあります。	未確認	※	0件	0件	0件	*	*	未確認
がん患者指導管理料1及び2	がん患者指導管理料は、がんの患者が、診察結果や治療方針などを理解するのに役立つ情報を提供するための料金です。がん研究を受ける医師や看護師が、文書での説明や相談、指導を行なっていることを示す項目です。健診・相談・指導を行なった回数によって料金が決まります。	未確認	※	0件	0件	0件	0件	0件	未確認
抗悪性腫瘍剤局所持続注入	抗悪性腫瘍剤局所持続注入は、がんの部位に直接、カテーテル(管)・導管(管)・導管(医療器具)等を用いて動脈や神経等へ抗がん剤を直接的に注入する治療法です。腫瘍の治療のための治療法です。	未確認	※	0件	0件	0件	0件	0件	未確認
肝動脈塞栓を伴う抗悪性腫瘍剤肝動脈内注入	肝動脈塞栓を伴う抗悪性腫瘍剤肝動脈内注入は、肝動脈の血流を遮断する方法で、がんの治療のための治療法です。がんの患者に対し、カテーテル・導管・管状の医療器具等を用いて肝動脈内に栓塞(塞栓)を注入する治療法を指します。肝動脈の血流を遮断する方法で、がんの治療のための治療法です。	未確認	※	0件	0件	0件	0件	0件	未確認

(断卒中)

項目(解説)	※	慢 性 期		慢 性 期		慢 性 期		慢 性 期	
		慢 性 期	慢 性 期	慢 性 期	慢 性 期	慢 性 期	慢 性 期	慢 性 期	慢 性 期
超急性期脳卒中加算		超急性期脳卒中加算 脳梗塞の患者に対し、発症後速やかに治療を要するとして、医療行為を行ったことを示す項目	未確認	※	0件	0件	0件	0件	0件
脳血管内手術		脳血管狭窄手術、脳動脈瘤等の手術に際し、頭蓋骨を切り離す(頭部手術)を、カテーテル・細管(管状)の医療器具を使用して手術を行った場合に付与する手術料。頭は小脳に位置する場合は、頭部手術料。	未確認	※	0件	0件	0件	0件	未確認

(心筋梗塞)

(項目) 説明		体	慢性期	慢性期	慢性期	慢性期	慢性期
経皮的冠動脈形成術	緑色の冠動脈形成術、椎心症中心筋膜瘻等の患者に対し、腹部を切り開く胸腹手術をせず、カーテル(縦)・管状の未確認	※	0件	0件	0件	0件	未確認

(全篇)

(分類)	— 体 —	1病種	2病種	3病種	5病種	6病種	7病種
(項目の解説)							

(第六頁)

(精神疾患)	施設等	1病棟 慢性期 慢性型	2病棟 慢性期 慢性型	3病棟 慢性期 慢性型	5病棟 慢性期 慢性型	6病棟 慢性期 慢性型	7病棟 慢性期 慢性型	
		(項目の説明)						
入院精神疾療法(1)	入院精神疾療法は、精神疾患の患者に対し、治療計画に基づいて医者の精神面に対して施す療育です。僅はこの治療を	未確認	※	0件	0件	0件	0件	未確認
精神科リソースセンター加算	精神科リソースセンター加算は、精神疾患の患者に対して、精神科医・専門の看護師が共同し、多職種チームとして診療を行なうための加算です。	未確認	※	0件	0件	0件	0件	未確認
認知症ケア加算1	認知症ケア加算1は、精神疾患の患者の状況をもとに認知症の患者に対し、病棟の看護師等や部門知能を有する多職種が適切に対応を行なうことを示す項目です。僅はこうした対応を行なった患者数です。	未確認	※	0件	0件	0件	0件	未確認
認知症ケア加算2	認知症ケア加算2は、精神疾患の患者に、身体的特徴がある精神疾患の状況の変化を入れて、既往歴等を記載された看護師が行なう多職種の診療を行なっていることを示す項目です。僅はこうして診療を行なった患者数です。	未確認	※	0件	0件	0件	0件	未確認
精神疾患診療体制加算1及び2	精神疾患診療体制加算1は、精神疾患の患者に対する精神疾患の診療の流れを入れて、既往歴等を記載された看護師が行なう多職種の診療を行なっていることを示す項目です。僅はこうして診療を行なった患者数です。	未確認	※	0件	0件	0件	0件	未確認
精神疾患診療体制初回加算(救命救急入院料)	精神疾患診療体制初回加算は、精神疾患の患者に対する精神疾患の診療の流れを入れて、既往歴等を記載された看護師が行なう多職種の診療を行なっていることを示す項目です。僅はこうして診療を行なった患者数です。	未確認	※	0件	0件	0件	0件	未確認

重症患者への対応状況

(項目の解説)							
	施設全体	1病棟 慢性期	2病棟 慢性期	3病棟 慢性期	5病棟 慢性期	6病棟 慢性期	7病棟 慢性期
ハイリスク分娩管理加算	ハイリスク分娩管理加算は、母体や胎児が分娩時に危険な状態に陥るリスクがある場合に付与し、帝王切開などの緊急剖腹産は複数回にわたる分娩管理料を示す項目です。備考欄には「3つ分娩管理を行った場合はあります」	未確認	※	0件	0件	0件	0件
ハイリスク妊娠婦共同管理料(Ⅱ)	ハイリスク妊娠婦共同管理料(Ⅱ)は、上記のような妊娠婦にハイリスク妊娠婦共同管理料(Ⅰ)とは、他の妊娠婦に付与する項目です。備考欄には「自院から他の紹介元の医師部と共同して自院で分娩管理を行った場合はあります」	未確認	※	0件	0件	0件	0件
救急搬送診療料	救急搬送診療料は、患者を救急車等で医療機関に搬送する際に発生する料金です。備考欄には「搬送した際の診療料を行った場合はあります」	未確認	※	0件	0件	0件	0件
観血的肺動脈圧測定	観血的肺動脈圧測定は、急性心筋梗塞など心筋細胞が低下した患者に対し、肺動脈内カテーテルを挿入して肺動脈の血圧を直接測定する検査です。備考欄には「検査を行った場合はあります」	未確認	※	0件	0件	0件	0件
持続緩徐式血液透析	持続緩徐式血液透析は、急速に腎臓の機能を低下した急性腎炎や腎不全、老廃物を除去して体液調節を行う装置です。備考欄には「血液透析を行った場合はあります」	未確認	※	0件	0件	0件	0件
大動脈バルーンパンピング法	大動脈バルーンパンピング法は、急性心筋梗塞等の患者に対するパルソングルーヴィングのいわゆるカーテール(細い管状の導管器具)を心臓に近い大動脈に挿入し、心筋の動きに合わせてバルーンを膨張・収縮させることで心筋の冠動脈への血流を増加させる方法です。備考欄には「心筋梗塞を行った場合はあります」	未確認	※	0件	0件	0件	0件
経皮的心肺補助法	経皮的心肺補助法は、重要な心不全等の患者に対して、人工心肺装置で血液循環を維持しながら、心肺機能の回復を図る手段であり、外科的に胸腔を開けなければ手術が可能である。備考欄には「心筋梗塞を行った場合はあります」	未確認	※	0件	0件	0件	0件
補助人工心臓・袖込型補助人工心臓	補助人工心臓は、重篤な心不全等の患者に対して人工的に血液循環を行う装置を装着することで、弱った心臓を休ませながら心臓の機能を主導して、他の臓器の循環を維持する装置です。備考欄には「心筋梗塞を行った場合はあります」	未確認	※	0件	0件	0件	0件
頭蓋内圧持続測定(3時間を超えた場合)	頭蓋内圧持続測定は、重篤な頭蓋外圧で頭蓋骨内部に圧迫された頭蓋内圧を測定する装置です。頭蓋内圧を行った患者に対し、特徴的な測定機器を頭蓋骨内部に置くことで、脳周辺の圧力を持続的に測定する装置です。備考欄には「頭蓋内圧を行った場合はあります」	未確認	※	0件	0件	0件	0件
人工心肺	人工心肺は、心臓手術等で心臓の機能を一時的に停止させられた場合は、人工心肺装置で心臓の機能を回復させる装置です。備考欄には「心筋梗塞を行った場合はあります」	未確認	※	0件	0件	0件	0件
血漿交換療法	血漿交換療法は、副腎炎、肝不全、膠原病等の患者に対して、患者の血液から病気の原因となる物質が含まれる血漿を分離して、別の血漿を行った血漿を注入する治療法です。備考欄には「心筋梗塞を行った場合はあります」	未確認	※	0件	0件	0件	0件
吸着式血液浄化法	吸着式血液浄化法は、副腎炎や肝不全等の患者に対し、血液を吸着槽に通すことで血液中に蓄積した老廃物や毒素を吸着する装置です。備考欄には「心筋梗塞を行った場合はあります」	未確認	※	0件	0件	0件	0件
血球成分除去療法	血球成分除去療法は、溶血性疾患やワルー病等の自己免疫疾患の患者に対して、血液から自分の細胞を攻撃する自己免疫を除去する治療法です。備考欄には「心筋梗塞を行った場合はあります」	未確認	※	0件	0件	0件	0件

平成28年6月の1か月間の評価に用いた評価票の種類							
「7割1入院基本料」、「10割1入院基本料」、「看護必要度加算割」、「一般病棟看護必要度評価加算」、「急性期看護補助体制加算」、「看護職員夜間配当加算」、「看護補助加算」の組合せを行っている場合における、		一般病棟用の重症度、医療・看護必要度の基準を満たす患者の割合は、医療・看護処置の必要性(A得点)や身体機能の状況(B得点)、手術等の医学的状況(C得点)を共通の評価票を用いて評価しています。割合が高いほど、必要な医療処置やケアの程度が高い患者が多いことを示します。					
A得点1点以上の患者割合		-	-	-	-	-	-
A得点2点以上の患者割合		-	-	-	-	-	-
重症度、医療・看護必要度の評価において、A得点2点以上かつB得点3点以上の患者割合		-	-	-	-	-	-
A得点3点以上の患者割合		-	-	-	-	-	-
C得点1点以上の患者割合		-	-	-	-	-	-
重症度、医療・看護必要度の評価において、A得点2点以上かつB得点3点以上、A得点3点以上またはC得点1点以上の患者割合		-	-	-	-	-	-
「地域包括ケア入院医療管理料」の組合せを行っている場合における、一般病棟用の重症度、医療・看護必要度の基準を満たす患者の割合		-	-	-	-	-	-
A得点1点以上の患者割合		-	-	-	-	-	-
A得点2点以上の患者割合		-	-	-	-	-	-
重症度、医療・看護必要度の評価において、A得点2点以上かつB得点3点以上の患者割合		-	-	-	-	-	-
A得点3点以上の患者割合		-	-	-	-	-	-
C得点1点以上の患者割合		-	-	-	-	-	-
重症度、医療・看護必要度の評価において、A得点2点以上かつB得点3点以上、A得点3点以上またはC得点1点以上の患者割合		-	-	-	-	-	-
「回復期リハビリテーション病棟入院料」の組合せを行っている場合における、一般病棟用の重症度、医療・看護必要度の基準を満たす患者の割合		-	-	-	-	-	-
A得点1点以上の患者割合		-	-	-	-	-	-
A得点2点以上の患者割合		-	-	-	-	-	-
重症度、医療・看護必要度の評価において、A得点2点以上かつB得点3点以上の患者割合		-	-	-	-	-	-
A得点3点以上の患者割合		-	-	-	-	-	-
C得点1点以上の患者割合		-	-	-	-	-	-
重症度、医療・看護必要度の評価において、A得点2点以上かつB得点3点以上、A得点3点以上またはC得点1点以上の患者割合		-	-	-	-	-	-

「総合入院体制加算」の提出を行っている場合における、一般病棟用の重症度、医療・看護必要度の基準を満たす患者の割合
A得点1点以上の患者割合
A得点2点以上の患者割合
重症度、医療・看護必要度の評価において、A得点2点以上かつB得点3点以上の患者割合
A得点3点以上の患者割合
C得点1点以上の患者割合
重症度、医療・看護必要度の評価において、A得点2点以上かつB得点3点以上、A得点3点以上またはC得点1点以上の患者割合

-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-

救急医療の実施状況

		(項目の説明)						
		施設全体	1病棟 慢性期	2病棟 慢性期	3病棟 慢性期	5病棟 慢性期	6病棟 慢性期	7病棟 慢性期
院内トリアージ実施料		室内トリアージ実施料には、通常午休日は、深夜に受診した救急患者に対し、その緊急性に応じて、診療の優先順位付け(院内トリアージ)を行っていることを示す項目です。催吐アレジを connaîtた患者です。	未確認	※	0件	0件	0件	0件
夜間休日救急搬送医学管理料		夜間に休日で受診した場合と同様に、夜間や休日の救急搬送に際していざなふ手当(項目)。催吐は、深夜、休日等に救急車や救急搬送の手配を	未確認	※	0件	0件	0件	0件
精神科疾患患者等受入加算		精神科疾患患者等受入加算料は、夜間や休日等に救急搬送された場合に、精神科の受診歴がある患者の場合は、この項目です。催吐は、夜間や休日等に搬送された患者のうち、過去6ヶ月以内に精神科の受診歴がある患者や、急性薬物中毒者(アルコール中毒者は除く)が該当する場合に該当する重要な状態の患者の緊急入院を受け入れていることを示す項目です。催吐は休日又は夜間に緊急入院した患者搬送を行った患者数です。	未確認	※	0件	0件	0件	0件
在宅患者緊急入院療養加算		在宅患者緊急入院療養料は、在宅での緊急入院の患者(即ち、他の医療機関で受けた場合に、その医療機関を主とした医療者が引き続き提供されるよう、他の医療機関と連携する取組を行っていることを示す項目です。催吐は、他の医療機関の緊急入院を受け入れた患者数です。休日又は夜間に緊急入院の患者数と、そのうち診察後に新たに入院が必要となつた患者数です。	未確認	※	0件	0件	0件	0件
休日に受診した患者延べ数		休日に受診した患者延べ数は、休日(日曜・祝日・年末年始)に受診した患者数と、そのうち診察後に新たに入院が必要となつた患者数です。	0人					
うち診察後直ちに入院となった患者延べ数			0人					
夜間・時間外に受診した患者延べ数		夜間・時間外に受診した患者延べ数は、夜間・時間外(医療機関が表示する診療時間以外の時間(休日を除く))に受診した患者数と、そのうち診察後に新たに入院が必要となつた患者数です。	0人					
うち診察後直ちに入院となった患者延べ数			0人					

救急車の受入件数	救急車の受入件数は、救急車や救急医療用ヘリコプター等により搬送され受け入れた患者数です。	0件						
救命のための気管内挿管	気管内挿管は、気道確保を行うためのチューブ等を口や鼻から挿入する処置です。他の救命措置として気管内挿管を行った患者数です。	未確認	※	0件	0件	0件	0件	未確認
体表面ペーシング法又は食道ペーシング法	体表面・食道ペーシング法は、胸部または食道内に電極をおき、電極を介して心臓を電気刺激する処置です。僅は放置を行った患者数です。	未確認	※	0件	0件	0件	0件	未確認
非開胸的心マッサージ	非開胸的心マッサージは、胸骨を叩く等の手術を行わない、一般的な心臓マッサージを行う処置です。僅は放置を行った患者数です。	未確認	※	0件	0件	0件	0件	未確認
カウンターショック	カウンターショックは、心停止した患者に対し、AEDや専門の医療機器等を用いて、心臓に電気ショックを与え、正常な状態に復す処置です。僅は放置を行った患者数です。	未確認	※	0件	0件	0件	0件	未確認
心臓穿刺	心臓穿刺・心臓を壁で覆う心臓穿刺等を刺す。心臓に貯まつた血液を抜き出す。血は心臓より肺へ運ばれて酸素化される。	未確認	※	0件	0件	0件	0件	未確認
食道圧迫止血チューブ挿入法	食道圧迫止血チューブ挿入法は、食道粘膜からの出血に對し圧迫止血の目的でチューブを挿入する処置です。僅は放置を行った患者数です。	未確認	※	0件	0件	0件	0件	未確認

急性期後の支援、在宅復帰の支援の状況

	(項目の解説)	施設全体	1病棟 慢性期	2病棟 慢性期	3病棟 慢性期	5病棟 慢性期	6病棟 慢性期	7病棟 慢性期
退院支援加算1	退院支援加算は、患者が安心・納得して退院し、早期に住み慣れた地域で療養や生活を継続できるように、施設間の連携を強化するうえで退院支援を実施することを示す項目です。直は退院支援を行った患者数です。	未確認 ※	0件	0件	0件	0件	0件	未確認
退院支援加算2		未確認 ※	0件	0件	0件	*	0件	未確認
救急・在宅等支援(療養)病床初期加算及び有床診療所一般病床初期加算	救急・在宅等支援(療養)病床初期加算及び有床診療所一般病床初期加算は、急性期の治療を終え、状態があら程度安定した患者や、自宅・介護施設等での療養中に突然などにより入院が必要なくなった患者を対象とするものであります。この項目は、直は在宅等支援を行った患者数です。	未確認 ※	0件	*	*	*	*	未確認
地域連携診療計画加算(退院支援加算1)	地域連携診療計画加算は、退院支援加算における退院支援を行つ際、施設や介護施設等の事業者等に診療情報を文書等で提出する項目と表示されています。直は、診療情報を文書等に記録した患者数です。	未確認 ※	0件	0件	0件	0件	0件	未確認
退院時共同指導料2	退院時共同指導料2は、退院時に在宅で療養する患者について、人院している医療機関の医師等が退院後の在宅療養を指導するための項目です。直は、在宅で療養する患者に指導や説明を行つてあることを示す項目です。直は、患者が人院している医療機関で指導や説明を行つた患者数です。	未確認 ※	0件	0件	0件	0件	0件	未確認
介護支援連携指導料	介護支援連携指導料は、人院中の在宅療養院・介護支援専門員(ケアマネージャー)が連携し、共同で指導や説明を行つたことを示す項目です。直は、在宅から担当を行つた患者数です。	未確認 ※	0件	0件	0件	*	0件	未確認
退院時リハビリテーション指導料	退院時リハビリテーション指導料は、病状や退院時に生ずる状態の構造、介護力を考慮し、リハビリテーションの観点から指導や説明を行つていることを示す項目です。直は、指導や説明を行つた患者数です。	未確認 ※	0件	0件	0件	*	0件	未確認
退院前訪問指導料	退院前訪問指導料は、退院前に患者の状態や、患者の家に訪問される患者に対し、円滑に退院できるよう、患者の家の状況に訪問した上で、その病状や退院後に生活する家庭の構造、介護力を考慮し、在宅での療養に必要な指導を行つてることを示す項目です。直は、指導を行つた患者数です。	未確認 ※	0件	0件	0件	0件	0件	未確認

全身管理の状況

	(項目の解説)	施設全体	1病棟 慢性期	2病棟 慢性期	3病棟 慢性期	5病棟 慢性期	6病棟 慢性期	7病棟 慢性期
中心静脈注射	中心静脈注射は、薬剤や栄養を長時間、安定的に供給する目的で、血液が多く流れ込む心臓近くにある大いな静脈（上腕靜脈）や鎖骨下静脈等に針を刺して点滴注入する方法です。呼吸心拍監視は、重篤な心機能障害や呼吸機能障害をもつ患者に対し、その呼吸・心拍動の状況を持続的に監視する方法です。	未確認 ※	*	0件	0件	0件	0件	未確認
呼吸心拍監視	呼吸心拍監視は、重篤な心機能障害や呼吸機能障害をもつ患者に対し、その呼吸・心拍動の状況を持続的に監視する方法です。	未確認 ※	0件	0件	0件	0件	0件	未確認
酸素吸入	酸素吸入は、呼吸器疾患などで酸素が欠乏した状態の患者に対する、高濃度の酸素を吸入させる処置です。僅にこの位置を行った患者数です。	17件 ※	17件	0件	0件	0件	0件	未確認
観血的動脈圧測定(1時間を超えた場合)	観血的動脈圧測定は、重症患者の血圧監測のために、動脈に穿刺を行い、持続的に血圧を測定する検査です。僅にこの位置を行った患者数です。	未確認 ※	0件	0件	0件	0件	0件	未確認
ドレーン法、胸腔若しくは腹腔洗浄	ドレーン法は、手術後等の患者に対して、腹膜や腹部等に腫瘍細胞や膿瘍等を除去する方法です。胸腔洗浄は、胸膜に針を刺し、洗浄、注入および排液をする検査です。僅にこれら小細胞を行った患者数です。	未確認 ※	0件	0件	*	*	0件	未確認
人工呼吸(5時間を超えた場合)	人工呼吸(5時間を超えた場合)は、呼吸困難でなくとも、機械を使って呼吸の補助をしない、通気に行なった所で、患者を挿出しし、肺の取込みを促す処置です。僅に3時間以上持続的に行なった患者数です。	未確認 ※	0件	*	*	0件	0件	未確認
人工腎臓、腹膜灌流	人工腎臓は、腎臓の代用として、人工腎臓は、透析機器(人工腎臓)を導入することによって、血液中の老廃物や余分な水分を取り除き血液を浄化する処置です。腹膜灌流(ふくまくかんりゅう)は、患者の腹膜(腹腔の膜)を覆う膜を介して腹腔中の余分な水分を吸収する方法です。腹膜灌流は、腹膜に針を刺し、注入を行った患者数です。	未確認 ※	0件	0件	0件	0件	0件	未確認
経管栄養カテーテル交換法	経管栄養カテーテル交換法は、口からの栄養摂取が難しく、胃や食道に狭窄がある場合、細い状態の栄養器具(カテーテル)を挿入して、栄養を経て注入する方法です。僅にカテーテルを交換した患者数です。僅にこの細胞を行った患者数	未確認 ※	*	0件	0件	*	*	未確認

リハビリテーションの実施状況

疾患別リハビリテーション料	(項目の解説)	施設全 体	1病棟 慢性期		2病棟 慢性期		3病棟 慢性期		5病棟 慢性期		6病棟 慢性期		7病棟 慢性期	
			慢性期	慢性期										
心大血管疾患リハビリテーション料	疾患別リハビリテーション料は、患者の疾患や状態に応じたリハビリテーションを行った場合のみ算定できます。 心大血管疾患の患者に対して必要な機能の回復、疾患の再発予防等を目的としたリハビリテーションです。値はこのリハビリテーション料と同一です。	273件	※	59件	58件	38件	61件	57件	未確認					
脳血管疾患等リハビリテーション料	脳血管疾患の患者に対するリハビリテーションは、脳梗塞、脳出血等の患者に対し必要な基本動作能力、言語聽覚能力等を回復を図るために行うリハビリテーションです。値はこのリハビリテーション料と同一です。	236件	※	53件	55件	32件	45件	51件	未確認					
痴呆症候群リハビリテーション料	痴呆症候群の患者に対するリハビリテーションは、痴呆症候群の患者に対して必要な基本動作能力の回復を図るために行うリハビリテーションです。値はこのリハビリテーションを行った場合のみ算定できます。	未確認	※	0件	0件	0件	0件	0件	未確認					
運動器リハビリテーション料	運動器リハビリテーションは、脊椎損傷による四肢麻痺、関節拘縮(かんしゆくごしゅく)、筋肉の動きが制限された状態等の患者に対して、必要な基本的動作能力等の回復を図るために行うリハビリテーションです。値はこのリハビリテーション料と同一です。	16件	※	*	*	*	*	16件	*	未確認				
呼吸器リハビリテーション料	呼吸器の患者に対し、症状に応じて必要な呼吸訓練等を行なうリハビリテーションです。値はこのリハビリテーション料と同一です。	未確認	※	0件	0件	0件	0件	0件	未確認					
障害児(者)リハビリテーション料	障害児(者)リハビリテーション料は、身体機能に障害がある患者に対し、状態に応じて行うリハビリテーションです。値はこのリハビリテーションを行った場合のみ算定できます。	未確認	※	0件	0件	0件	0件	0件	未確認					
がん患者リハビリテーション料	がん患者リハビリテーション料は、がんの患者に対して、治療のためのリハビリテーションを行なう場合に算定する料金です。値はこのリハビリテーションを行った場合のみ算定できます。	未確認	※	0件	0件	0件	0件	0件	未確認					
認知症患者リハビリテーション料	認知症患者リハビリテーション料は、重要な認知症患者に対し、必要な認知機能や社会生活機能の回復を図るために行うリハビリテーションです。値はこのリハビリテーションを行った場合のみ算定できます。	未確認	※	0件	0件	0件	0件	0件	未確認					
早期リハビリテーション加算(リハビリテーション料)	早期リハビリテーション加算は、治療開始後の早期段階(治療開始日から30日以内)からリハビリテーションを行っている場合に算定する料金です。	未確認	※	*	0件	0件	*	0件	未確認					
初期加算(リハビリテーション料)	初期加算は、治療開始後の初期段階(治療開始日から14日以内)からリハビリテーションを行っている場合に算定する料金です。値はこのリハビリテーションを行った場合のみ算定できます。	未確認	※	0件	0件	0件	0件	0件	未確認					
摂食機能療法	摂食機能療法は、嚥下機能の回復を図るために行うリハビリテーションです。値はこのリハビリテーション料と同一です。	82件	※	17件	15件	0件	30件	20件	未確認					
小児リハビリテーション充実加算(回復期リハビリテーション病棟入院料)	リハビリテーション充実加算は、より多くのリハビリテーションを実施する病棟料です。値はこのリハビリテーション料と同一です。	未確認	※	0件	0件	0件	0件	0件	未確認					
休日リハビリテーション提供体制加算(回復期リハビリテーション病棟入院料)	休日リハビリテーション提供体制加算は、休日にも同様にリハビリテーションを提供できるような勤員配置等になされた上で算定する料金です。値はこのリハビリテーション料と同一です。	未確認	※	0件	0件	0件	0件	0件	未確認					
入院時訪問指導加算(リハビリテーション総合計画評価料)	入院時訪問指導加算は、患者が退院後に生活する自宅や施設等を訪問し、その住環境や家族の状況等を踏まえたリハビリテーション実施計画を策定している場合に算定する料金です。値はこのリハビリテーション料と同一です。	未確認	※	0件	0件	0件	0件	0件	未確認					

	(項目の解説)	施設全体	1病棟 慢性期	2病棟 慢性期	3病棟 慢性期	5病棟 慢性期	6病棟 慢性期	7病棟 慢性期
体制強化加算1又は2(回復期リハビリテーション病床入院料)の届出の有無	体制強化加算は、患者の早期の機能回復や退院を促進するため、専門の医師や社会福祉士を配置していることを示す項目です。同一の医療行為に複数の加算が適用される場合、リハビリテーションを実施した患者の場合は、入院患者のうち、疾患や状態に応じたリハビリーションが実施された患者の割合です。							
リハビリテーションを実施した患者の割合	リハビリテーションを実施した患者の場合は、入院患者のうち、疾患や状態に応じたリハビリテーションが実施された患者の割合です。		-	-	-	-	-	-
平均リハビリテーション単位数(患者1日当たり)	平均リハビリテーション単位数は、上記の患者に対して行ったリハビリテーションの平均的な量を示す値です。20分実施した場合を1単位とみなします。		-	-	-	-	-	-
過去1年間の総退院患者数	過去1年間の総退院患者数等は、平成27年1月から平成28年6月までの6か月間に実施した患者の数です。日本生活機能評価に応じた患者の数です。		-	-	-	-	-	-
うち入院時の日常生活機能評価10点以上の患者数	うち退院時の日常生活機能評価が、入院時に比較して3点以上(※)改善した患者数		-	-	-	-	-	-
うち退院時の日常生活機能評価が、入院時に比較して3点以上(※)改善してない患者数	※回復期リハビリテーション病床入院料1の場合には4点		-	-	-	-	-	-
回復期リハビリテーション病棟を退職した回復期リハビリテーションを要する状態の患者数【平成28年1月1日～6月30日の6か月間】	回復期リハビリテーション病棟を退職した回復期リハビリテーションを要する状態の患者数【平成28年1月1日～6月30日の6か月間】		-	-	-	-	-	-
うち実績指数の計算対象とした患者数【平成28年1月1日～6月30日の6か月間】	うち実績指数の計算対象とした患者数【平成28年1月1日～6月30日の6か月間】		-	-	-	-	-	-
実績指数【平成28年1月1日～6月30日の6か月間】	実績指数とは、回復期リハビリテーション病棟におけるリハビリテーションの提供実績を評価する指標で、提供実績を有するほど、数値が高くなります。		-	-	-	-	-	-

長期療養患者の受入状況

(項目の解説)								
	施設全 体	1病棟 慢性期	2病棟 慢性期	3病棟 慢性期	5病棟 慢性期	6病棟 慢性期	7病棟 慢性期	
療養病棟入院基本料1.2(A~I)	療養病棟は、主として、長期にわたり医療を必要とする患者を入院させるための病棟です。値はこうした病棟に入院して	250件	※	0件	64件	62件	64件	60件
褥瘡評価実施加算(療養病棟入院基本料、有床診療所療養病床入院基本料)	褥瘡が特に生じやすい状態にある患者について、褥瘡の予防や処置の観点から必要な取組を行っていることを示す項目です。褥瘡(ほずわ)は、寝たきりなどによると、多くの場合褥瘡(ほずわ)を発症する疾患です。値はそのような状況に対する対応を示す項目です。	188件	※	0件	41件	50件	51件	46件
重度褥瘡処置	重度の褥瘡(ほずわ)に対する対応を行っていることを示す項目です。重度の褥瘡(ほずわ)は、寝たきりなどによると、多くの場合褥瘡(ほずわ)を発症する疾患です。値はそのような状況に対する対応を示す項目です。	未確認	※	0件	0件	0件	0件	0件
重症皮膚清掃管理加算	重症皮膚清掃管理加算は、重度皮膚清掃を行った患者数です。重症皮膚清掃管理加算は、重度の障害者、難病患者等ののため、皮膚の清掃をより詳しく行っていることを示す項目です。値はその皮膚清掃を行った患者数です。	未確認	※	0件	0件	0件	0件	0件

重度の障害児等の受入状況

(項目の解説)								
	施設全 体	1病棟 慢性期	2病棟 慢性期	3病棟 慢性期	5病棟 慢性期	6病棟 慢性期	7病棟 慢性期	
難病等特別入院診療加算	難病等特別入院診療加算は、難病患者や透析症患者等の入院を受けていることを示す項目です。値はその患者数	未確認	※	0件	0件	0件	0件	未確認
特殊疾患入院施設管理加算	特殊疾患入院施設管理加算は、重度の障害者、難病患者等ののため、施設の運営をより詳しく行っていることを示す項目です。値はその患者数です。	60件	※	60件	0件	0件	0件	未確認
超重症児(者)入院診療加算・準超重症児(者)入院診療加算	超重症児(者)入院診療加算・準超重症児(者)入院診療加算は、出生時から小児期までに生じた障害によって現在も非常に日常生活に支障がある児童(者)を対象としたものです。値はこの児童(者)の患者数です。	16件	※	16件	*	*	0件	0件
障害児(者)リハ(再掲)	障害児(者)リハ(再掲)	未確認	※	0件	0件	0件	0件	未確認
強度行動障害入院医療管理加算	強度行動障害入院医療管理加算は、知的障害や自閉症等であって、自傷、他人行為などで、危険を伴う行動を繰り返行する特徴のある患者の入院医療を行っていることを示す項目です。値はその患者数です。	未確認	※	0件	0件	0件	0件	未確認

医科専科の連携状況

(項目の解説)								
	施設全 体	1病棟 慢性期	2病棟 慢性期	3病棟 慢性期	5病棟 慢性期	6病棟 慢性期	7病棟 慢性期	
歯科医師連携加算(栄養サポートチーム加算)	歯科医師連携加算は、入院中の患者の栄養状態の改善を図るため、歯科医師が室内スタッフと共に栄養サポートを行っていることを示す項目です。値はその患者数	未確認	※	0件	0件	0件	0件	未確認
周術期口腔機能管理後手術加算	周術期口腔機能管理後手術加算は、周術期の口腔機能等に立ち、手術等を実施する1か月前の期間で歯科医師が周術期の口腔機能の管理を行っていることを示す項目です。値は	未確認	※	0件	0件	0件	0件	未確認
周術期口腔機能管理料(Ⅰ)	周術期口腔機能管理料(Ⅰ)は、がんの手術を実施する患者等に、周術期の口腔機能の管理を行なうため、周術期の口腔機能の管理を行い、管理内容を文書により提供していることを示す項目です。値はその患者数です。	未確認	※	0件	0件	0件	0件	未確認
周術期口腔機能管理料(Ⅲ)	周術期口腔機能管理料(Ⅲ)は、がんの手術を実施する患者等に、周術期の口腔機能の管理を行い、管理内容を文書により提供していることを示す項目です。値はその患者数です。	未確認	※	0件	0件	0件	0件	未確認

[TOPへ戻る](#)